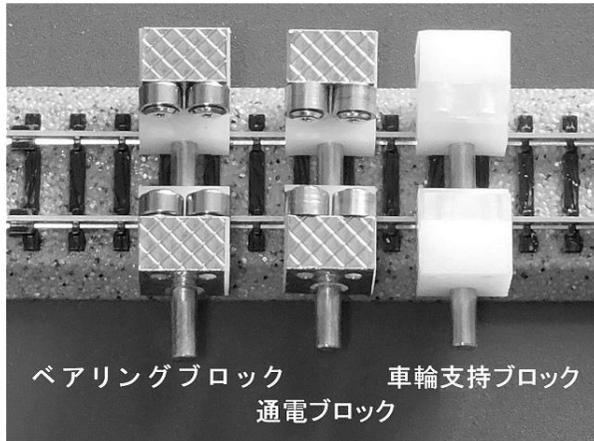
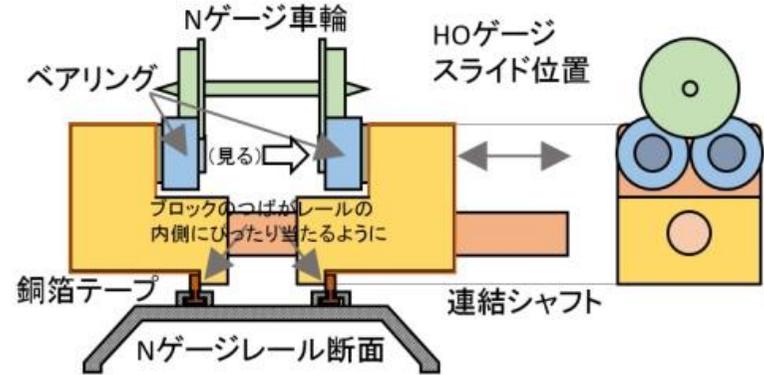


ベアリングブロック式可動レール

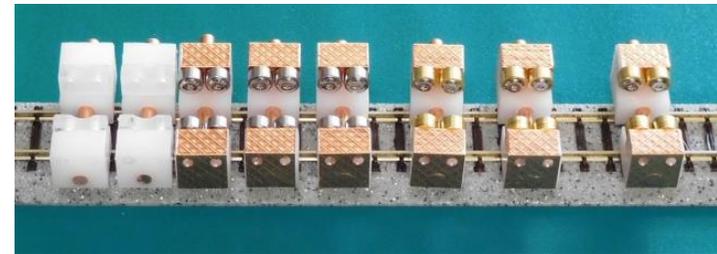
取扱説明書



(写真は既製品の N ゲージレール上に各ブロックを置いたものです。)



3. ブロックの配置



1. 使用目的

鉄道模型のレールのレイアウト上で各種の車両を走らせる代わりに、キットの各種ベアリングブロックを直線レール上に乗せ、その上に鉄道模型車両を乗せて固定した位置で車両の走行状態を見られるようにしたものです。

鉄道模型の Z(6.5mm)・N(9mm)・HO(16.5mm)ゲージに適用できますが、Zゲージの場合は蒸気機関車の走行は出来ません。

2. ブロック間隔の調整

各ゲージ用に設定するには、片側のブロックをゆっくりねじりながらスライドさせ、ブロック突起部分を図のように各ゲージのレールの内側に接するようにします。

幅を調整したら、平面に置いて二つのブロック間にねじれないかチェックします。

鉄道模型車両のモーター駆動車両やその台車は、実物をスケールダウンしたものですから、回転車輪の数や位置が異なります。ブロックに乗せる車両の回転車輪がどの位置にあるかを前もって調べておきます。

車両の裏側にギアボックスやギアが見えるのが普通ですから見当がつきますが、確認したい場合には車両を上下逆に置いて、通電した線路にクリップコードを接続し、クリップを車輪に軽く当てるとわかります。前照灯・室内灯・尾灯などの電源を取っている車輪もありますので、併せてこれらもチェックします。

各車輪の先端が脱輪していないか、また二個のベアリングの谷間・通電リングの谷間・車輪固定切り欠きの谷間に落ち込んでいることを確認してください。ブロック上で走らせたい車両の駆動輪などの配置図(フートプリント)をあらかじめ作成しておく便利です。

(自作バージョン)